



柏崎市議会議員定数を適正化するよう求める請願

請願者



近藤 由香里 ⑩

紹介議員

星野 正仁 ⑩

齋木 裕司 ⑩

与口 善之 ⑩

上森 茜 ⑩

丸山 敏彦 ⑩

若井 恵子 ⑩

平成29年8月14日

柏崎市議会議長 加藤 武男 様

(趣旨)

柏崎市議会議員定数を適正な数にすること。

(理由)

平成21年2月定例会における「柏崎市議会議員定数の削減に関する請願」提出以来、8年が経過しました。この間、柏崎市議会は大きく変化を遂げていること、一市民として心強く感じております。

平成21年9月の「議会改革に関する特別委員会」設置を皮切りに、平成22年9月議会で条例が改正され、平成23年4月に行われた統一地方選挙以降の議員定数は30名から26名になりました。その後も平成25年3月に議員倫理条例の制定、5月に通年議会の実現、6月に常任委員会の改編、平成26年6月に柏崎市議会基本条例制定、平成27年11月から市内各地での議会報告会開催、そして各種情報公開など、全国に先駆けて議会改革を進めてきたことに敬意を表します。

議員定数26名になる前には「議員を減らせば議会の力が弱まる」との声もありましたが、柏崎市議会では議員定数削減後に議会機能が強化され、議員の役割や活動原則が明確になり、より市民に開かれた議会になっていると感じるところです。

その一方で、現在の議員定数についての議論がまったく進んでいないこと

を危惧しております。

なぜなら平成26年12月定例会議、及び平成27年6月定例会議において議員定数の見直しを求める議案が提出されていますが、いずれも議論が不十分であることを理由に否決され、議会みずからが検討するとの意見が出されているからです。

そして今年3月に公表された柏崎市議会基本条例の検証結果によれば、議員定数についての評価は「C:できていない(分析と見直しが必要)」でした。理由は議員定数が適切かどうかの検証を行っていないためであり、今後は検証体制の構築や現状分析等、本質的な取り組みが必要であると明記されています。

柏崎市の人口は年々減少しています。議員定数26名となった平成23年4月末人口は9万859人でしたが、平成29年5月末人口は8万5,766人で、今後も減少していくことが予測されます。

平成27年7月に発行された全国市議会議長会のデータによれば、人口5万人～10万人未満の自治体の平均的な議員数は21.9人だそうです。

また柏崎市職員も、適正な数になるよう順次検討が進められていると聞いております。

市の人口動態及び全国的な情勢を鑑みても、市職員と同様に議員の数も適正化するべきと考えます。

以上のことから、適正な市議會議員定数について速やかに検討を行い、現行人数を見直していただくことをお願いいたします。